

平成 17年度小野市(普通会計)

◇ ◆ ◇ バランスシート(小野市の資産と負債の状況) ◇ ◆ ◇

平成 17年度末の市民一人あたり

資 産	137万4千円	(対前年度比	1万円減)
負 債	40万9千円	(対前年度比	1万6千円減)
正味資産	96万5千円	(対前年度比	6千円増)

参考	兵庫県民1人あたり
資 産	112万円
負 債	69万円
正味資産	43万円

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すため作成し、その結果がとりまとめられました。

平成17年度末のバランスシートによると、過去約37年間に取得、建設した土地、建物などの資産合計は684億2,272万円となり、前年度から7億6,679万円減りました。一方、負債合計は203億6,834万円となり、前年度から8億8,710万円減りました。資産から負債を差し引いた正味の資産は480億5,438万円となり、前年度から1億2,031万円増えました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が577億1,649万円と全体の84.4%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの土木関係費が282億9,710万円、小・中学校の用地や校舎などの教育関係費が187億6,935万円で、合わせて81.5%とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職給与引当金を合わせた負債が184億6,838万円、18年度償還予定額が18億9,996万円となっています。

これを市民1人当たりのバランスシートでみると、市民1人当たりの資産は137万4千円、負債は40万9千円となり、正味資産は96万5千円となりました。前年度と比較すると、資産は1万円の減、負債は1万6千円の減となり、正味資産は6千円の増となりました。